



富山県：早月川と剣岳



北海道：白金青い池



石川県：長町武家屋敷跡(写真提供：金沢市)

Interim Mini Disclosure 2018

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2019年3月期・営業の中間ご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



福井県：万葉の里 味真野苑(写真提供：福井観光連盟)



北海道：藻岩山



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ会社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの「平成30年北海道胆振東部地震」により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(2019年3月期・営業の中間ご報告)」をお届けいたします。本誌では、2018年度中間期の業績ならびに各種取り組みなどをご紹介しておりますので、ご高覧いただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

当社グループの主要営業地域である北陸三県の経済は、

電子部品や業務用機械などの業種での生産が高水準で推移したほか、個人消費も緩やかに拡大し、雇用情勢においては着実な改善のもと人手不足感が強まっております。また、北海道においては、震災にともなう観光産業等への一時的な影響や住宅投資・公共投資に弱い動きがみられるものの、個人消費や設備投資が堅調に推移し、持ち直し基調を維持しております。

こうした中、当社グループは今期が最終年度となる中期経営計画「BEST for the Region」のもと、「営業力の強化」、「経営の効率化」、「経営基盤の強靱化」を柱として各種施策に取り組んでおります。

個人のお客さまには、タブレット端末を活用した預かり資産販売システムの導入により、投資商品購入の手続きがより簡易に行えるよう利便性の向上を図ってまいりましたほか、資産運用コンサルティングの専門担当者をエリアごとに戦略的に配置する体制を順次導入し、お客さまの多様な運用ニーズに応じたサービスの提供に努めております。また、法人のお客さまには、事業業継やファイナンスなど様々な課題に対応する専門部署の増強や外部の専門家を含む生産性革新サポートチームの組成によるコンサルティング活動の拡充、ビジネスマッチングシステムの導入による販路開拓等の支援強化など、企業のライフステージに応じた支援に積極的に取り組んでおります。

一方で、イントラ機能を活用したペーパーレス化やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用による事務の簡略化など、業務プロセスの改革により効率化を進めてまいりました。効率化によって生まれる余力を活用して、さらなるサービス強化につなげてまいります。

各種施策の成果を着実に積み上げていくことにより、持続的に企業価値を向上させるべく、引き続きグループ役職員が一丸となって取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年12月

目 次

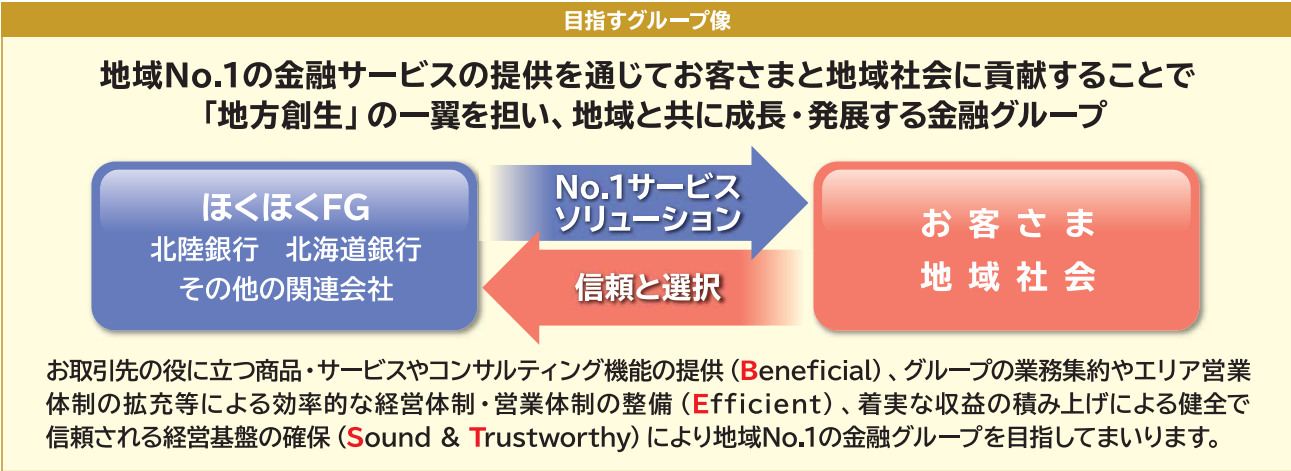
ごあいさつ	01	ネットワーク	08
中期経営計画	02	平成30年北海道胆振東部地震の発生と 当社グループの取り組み	09
業績ハイライト	03	トピックス	11
グループの概要	07		

《ほくほくフィナンシャルグループのESG》	
Environment(環境)への取り組み	12
Social(社会)への取り組み	13
Governance(ガバナンス)への取り組み	21
株式のご案内	22

中期経営計画の概要

『BEST for the Region』 2016年4月～2019年3月

～予想される環境変化のなかで地域経済をバックアップしていくために、
ビジネスモデルの変革とグループシナジー効果のさらなる追求に取り組む期間～



3つのコンセプト

①営業力の強化
お客さまの期待を上回る提案力・サービス力の実現

②経営の効率化
競争を勝ち抜く機能的な組織の追求

③経営基盤の強靱化
地域から信頼される安定した財務基盤の構築

中期経営計画で目標とする計数			
連結／2行合算 (億円)	2017年度 実績	2018年度 中間実績	2018年度 計画
預金平残	107,687	112,104	105,600
貸出金平残	79,616	81,288	77,600
コア業務粗利益	1,267	640	1,345
経費	888	437	930
コア業務純益	379	203	415
信用コスト	5	5	60
親会社株主に帰属する 当期純利益	211	139	230
(連結)自己資本比率	9.49%	9.78%	9.55%
コア業務粗利益ベース OHR	70.05%	68.30%	69.14%

業績ハイライト

グループの概要

ネットワーク

地震対応

トピックス

ESG

株式のご案内

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位:億円)			
	2018年 9月期	前中間期比	2017年 9月期
経常収益	918	1	917
経常利益	194	14	180
親会社株主に帰属する中間純利益	139	28	111
自己資本比率	9.78%	0.05%	9.73%

当社における2018年9月期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比1億円増加の918億円、連結経常利益は前中間期比14億円増加の194億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比28億円増加の139億円となりました。

連結自己資本比率は9.78%となりました。

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

(単位:億円)			
	2行合算		
	2018年 9月期	前中間期比	2017年 9月期
経常収益	836	△ 7	844
コア業務粗利益	640	△ 9	650
経費(臨時処理分を除く)	437	△ 7	445
コア業務純益	203	△ 2	205
与信費用	5	△ 18	23
経常利益	206	15	191
中間純利益	155	30	125

2行合算では、経常収益は前中間期比7億円減少の836億円となり、中間純利益は前中間期比30億円増加の155億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前中間期比2億円減少の454億円となり、中間純利益は前中間期比26億円増加の92億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前中間期比5億円減少の382億円となり、中間純利益は前中間期比4億円増加の63億円となりました。

(単位:億円)			
	北陸銀行		
	2018年 9月期	前中間期比	2017年 9月期
経常収益	454	△ 2	456
コア業務粗利益	350	△ 3	353
経費(臨時処理分を除く)	235	△ 2	238
コア業務純益	114	△ 0	115
与信費用	△ 0	△ 17	17
経常利益	126	17	108
中間純利益	92	26	65
自己資本比率	9.21%	0.17%	9.04%

(単位:億円)			
	北海道銀行		
	2018年 9月期	前中間期比	2017年 9月期
経常収益	382	△ 5	387
コア業務粗利益	290	△ 6	296
経費(臨時処理分を除く)	201	△ 5	206
コア業務純益	88	△ 1	90
与信費用	6	△ 0	6
経常利益	80	△ 2	82
中間純利益	63	4	59
自己資本比率	9.44%	△ 0.09%	9.53%

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

■ その他
■ 役員取引等利益
■ 資金利益

資金利益 **552億円**

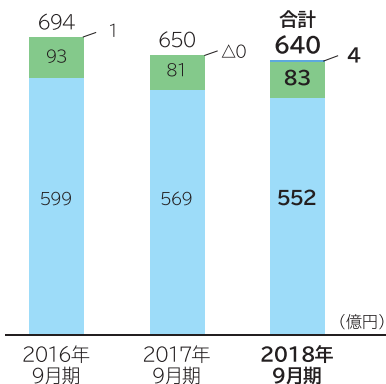
貸出金利息の減少により、前中間期比17億円減少しました。

役員取引等利益 **83億円**

保険販売手数料の増加により、前中間期比2億円増加しました。

コア業務粗利益 **640億円**

上記の結果、前中間期比9億円減少しました。

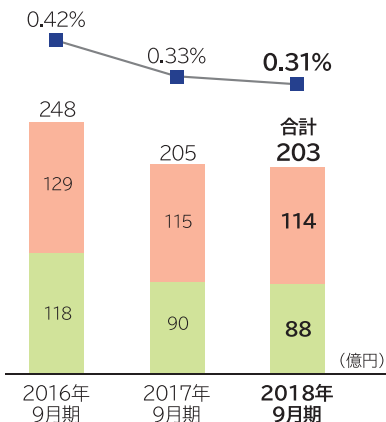


■ コア業務純益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ ROA

コア業務純益 **203億円**

経費は減少しましたが、コア業務粗利益の減少により、前中間期比2億円減少しました。

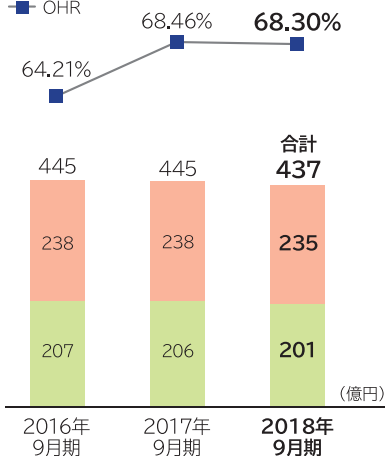


■ 経費<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ OHR

経費 **437億円**

人件費および物件費が減少したことから、前中間期比7億円減少しました。

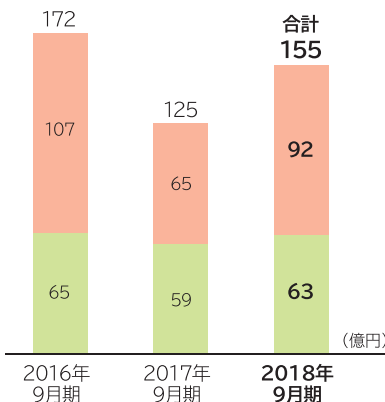


■ 中間純利益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行

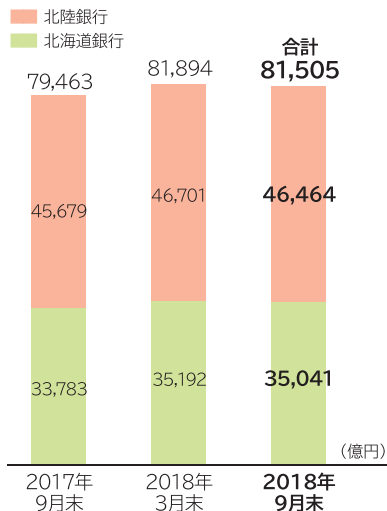
中間純利益 **155億円**

株式等損益は減少しましたが、国債等債券損益の増加および与信費用の減少により、中間純利益は前中間期比30億円増加しました。



貸出金・預金等の状況

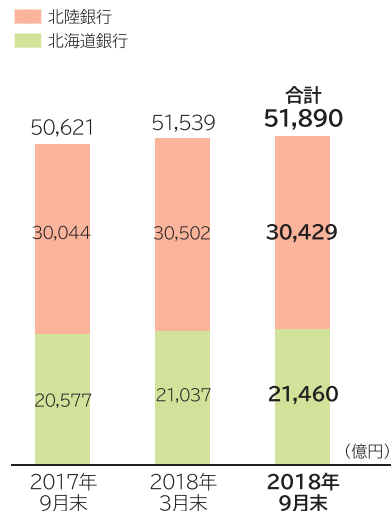
■ 貸出金<2行合算>



貸出金
8兆1,505億円

事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出の増加により、前中間期末比2,042億円増加しました。

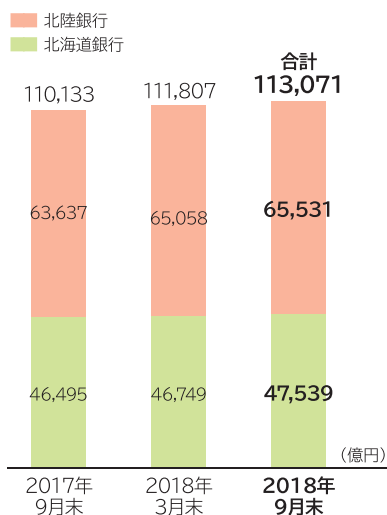
■ 中小企業等貸出<2行合算>



中小企業等貸出
5兆1,890億円

地域の資金需要を積極的に取り込んだ結果、前中間期末比1,268億円増加しました。

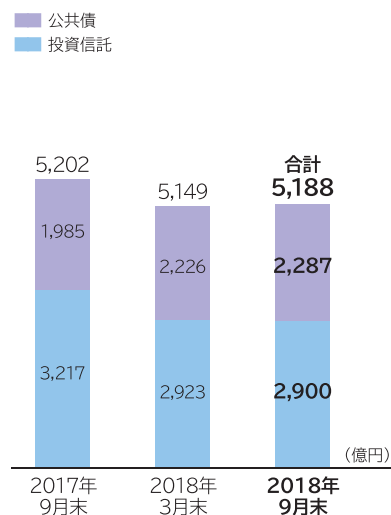
■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>



預金(含む譲渡性預金)
11兆3,071億円

個人預金、法人預金とも順調に増加し、前中間期末比2,937億円増加しました。

■ 個人預かり資産(公共債、投資信託)<2行合算>



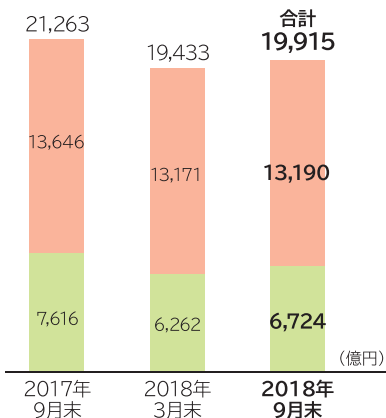
個人預かり資産
5,188億円

投資信託が減少したことから、前中間期末比14億円減少しました。

有価証券残高・健全性の指標

■ 有価証券残高<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

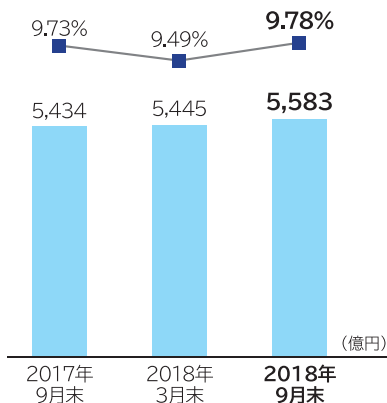


有価証券残高
1兆9,915億円

有価証券残高は、金利情勢を勘案しつつポートフォリオの再構築を図った結果、2018年3月末比482億円増加しました。

■ 自己資本比率<FG連結>

自己資本
自己資本比率

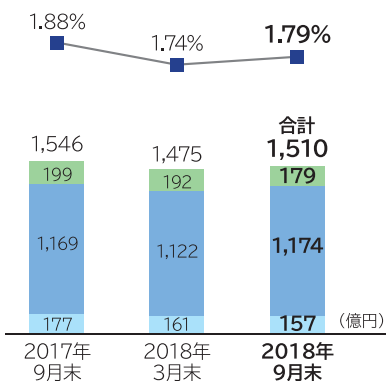


自己資本比率
9.78%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、2018年3月末比0.29ポイント上昇しました。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率



金融再生法開示債権
1,510億円

2018年3月末比34億円増加しました。

開示債権比率
1.79%

2018年3月末比0.05ポイント上昇しました。

■ 格付

格付投資情報センター
R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」、北海道銀行はJCRより「A」の格付も取得しています。

銀行持株会社



**Hokuhoku
Financial
Group, Inc.**

■ 資 本 金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 132,163,014株
第1回第5種優先株式 107,432,000株

取締役の役職および氏名

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
取締役社長	庵 栄伸	取 締 役	加 地 賢幸
取締役副社長	笹原 晶博	取締役監査等委員(常勤)	菊 島 聡史
取 締 役	麦 野 英順	取締役監査等委員(社外)	川 田 達男
取 締 役	兼 間 祐二	取締役監査等委員(社外)	中 川 了滋
取 締 役	吉 田 剛	取締役監査等委員(社外)	眞 鍋 雅昭
取 締 役	浅 林 孝志	取締役監査等委員(社外)	鈴 木 伸弥

■ 従業員の数 専任者12名

■ 設 立 日 2003年9月26日

■ 各組織の構成および役割等

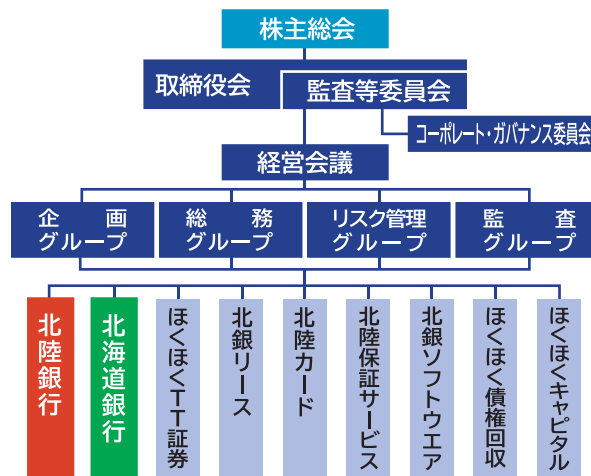
取 締 役 会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。4名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。
コーポレート・ガバナンス委員会	社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。
経 営 会 議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

名 称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号

業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理および附帯業務
2. その他銀行法が認める業務

■ 組織図

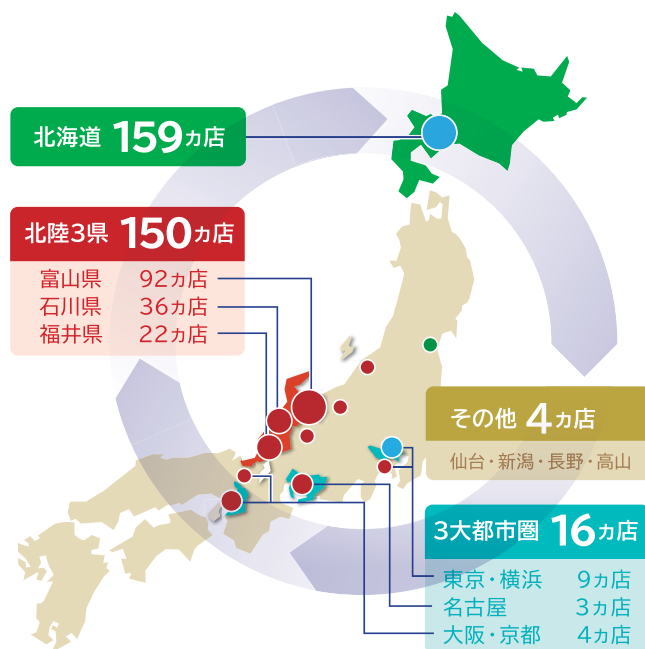


■ グループ各社の内容

(株) 北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株) 北海道銀行	
ほくほくTT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株) 北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。

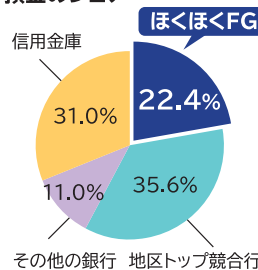
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。

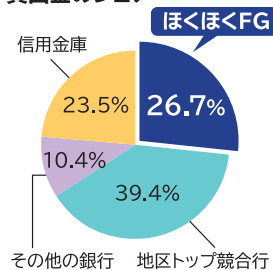


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

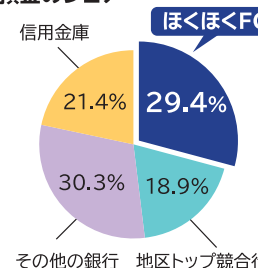


貸出金のシェア

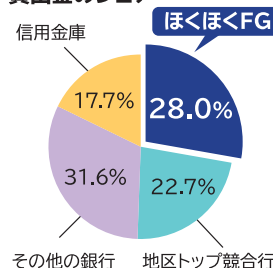


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、2018年3月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めていきます。

- ① ニューヨーク駐在員事務所
- ② ロンドン駐在員事務所
- ③ バンコク駐在員事務所
- ④ シンガポール駐在員事務所
- ⑤ 上海駐在員事務所
- ⑥ 大連駐在員事務所
- ⑦ 瀋陽駐在員事務所
- ⑧ ウラジオストク駐在員事務所
- ⑨ ユジノサハリンスク駐在員事務所

海外駐在員事務所 9 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 3



平成30年北海道胆振東部地震の発生

2018年9月6日3時7分頃、北海道胆振地方中東部を震源とするマグニチュード6.7、最大震度7の地震が発生いたしました。北海道で初めて観測された震度階級で最も高い震度7の地震により、9月末現在の死者は41人、住宅の被害は全壊・半壊・一部破損含め約9千棟という甚大な被害が発生しました。

平成30年北海道胆振東部地震の当社グループの取り組み

営業体制等

当社グループの店舗やATMは、停電等のインフラの寸断による影響を受け、地域の皆さまには大変なご不便をおかけしましたが、休日を含め金融サービスの提供に向けた体制整備に全力で取り組み、9月10日より全店通常営業しております。

その他震災に伴う対応

平成30年北海道胆振東部地震の影響を踏まえ、各種お取引について当面、以下のようなお取り扱いを実施しております。

お取り扱い内容の詳細につきましては、北陸銀行および北海道銀行のホームページや本支店の窓口にてご確認ください。

被災された皆さまへのご相談・お手続きについて

- (1)預金証書、通帳、キャッシュカード、お届け印を紛失された方は、預金者ご本人であることを確認のうえ、お支払いの手続きをさせていただきますので、ご相談ください（ご本人さまを確認できる資料をできるだけお持ちください）。
- (2)定期預金等の期限前の払戻しが必要な場合、もしくは定期預金を担保とする貸付についてもご相談ください。
- (3)今回の災害による障害のため支払期日が経過した手形については、関係金融機関と話し合いのうえ取立に応じることとしておりますので、ご相談ください。
- (4)災害時における手形、小切手の不渡り処分や電子記録債権の取引停止処分等については、ご相談ください。
- (5)汚れた紙幣・硬貨の両替等は、窓口にご相談ください。
- (6)国債を紛失した場合は、窓口にご相談ください。
- (7)災害復旧に向けた各種ご融資やお借入れ資金のご返済は、各営業店の融資窓口に「ご相談窓口」を設けておりますので、ご相談ください。
- (8)地震で被害を受けたお客さまをご支援するため、対策資金の取り扱いをしております。

被災された皆さまの支援制度

個人のお客さま

北陸銀行・北海道銀行では、平成30年北海道胆振東部地震で被害を受けられたお客さまを支援するため以下の商品を取り扱っております。

	北 陸 銀 行		北 海 道 銀 行	
	フリーローン	リフォームローン	道銀ライフローン（災害復旧型）	道銀リフォームローン（災害復旧型）
利用対象者	地震の影響により被害を受けた満20歳以上、完済時年齢満70歳未満の方	地震の影響により被害を受けた満20歳以上、完済時年齢満70歳未満の方	地震の影響により被害を受けた満20歳以上、ご完済時年齢70歳以下の方	地震の影響により被害を受けた満20歳以上、ご完済時年齢70歳以下の方
資金使途	健全な個人消費性資金（事業性資金・借換資金は除く）	罹災した住宅に係る修繕、設備設置等の費用	事業資金を除く、消費・生活資金（確認書類不要です）	被災された住宅にかかる修繕、設備設置等費用
融資金額	10万円以上1,000万円以内（1万円単位）	10万円以上1,000万円以内（1万円単位）	10万円以上300万円以内（1万円単位）	10万円以上1,000万円以内（1万円単位）
融資期間	1年以上10年以内（6カ月単位）	1年以上15年以内（6カ月単位） ※最大5年間の元金返済猶予が可能です。	6カ月以上7年以内（1カ月単位）	6カ月以上10年以内（1カ月単位） ※お借入金額が300万円超の場合は最長15年以内 ※最大5年間（60カ月）の元金据置が可能です。
お借入利率	年2.30%（変動金利、保証料込み）	年1.925%（変動金利、保証料込み）	年2.30%（変動金利、保証料込み）	年1.925%（変動金利、保証料込み）
担保・保証人	不要（北陸保証サービス㈱が保証いたします）	不要（北陸保証サービス㈱が保証いたします）	不要（道銀カード㈱が保証いたします）	不要（道銀カード㈱が保証いたします）
必要書類	本人確認書類、収入確認書類、資金使途確認書類（お見積書）等	本人確認書類、収入確認書類、資金使途確認書類（お見積書）等	本人確認書類、収入確認書類、勤続年数確認書類	本人確認書類、収入確認書類、勤続年数確認書類、資金使途確認書類（お見積書）等
返済方法	毎月元利均等返済（40%までの増額返済併用可）	毎月元利均等返済（40%までの増額返済併用可）	毎月元利均等返済（50%までの増額返済併用可）	毎月元利均等返済（50%までの増額返済併用可）
取扱期限	2018年12月28日（金）まで	2018年12月28日（金）まで	2018年12月28日（金）まで	2018年12月28日（金）まで

法人のお客さま

北陸銀行・北海道銀行では、平成30年北海道胆振東部地震で被害を受けられたお客さまを支援するため「平成30年北海道胆振東部地震被害対応資金」の取り扱いを行っております。

	平成30年北海道胆振東部地震被害対応資金
融資対象	地震の影響により被害を受けた法人または個人事業主
資金使途	地震被害の影響に関連する資金（運転・設備）
融資金額	100万円以上1億円以内
融資期間	運転資金：7年以内（据置1年以内） 設備資金：10年以内（据置1年以内）
金利	各行所定の利率
返済方法	元金均等返済
取扱期限	2019年3月29日（金）

義援金のご案内（受付期限 2019年3月31日（日））

北 陸 銀 行

支店・口座番号 北陸銀行 県庁内支店（普）6007222

口座名 社会福祉法人富山県共同募金会災害義援金

支店・口座番号 北陸銀行 富山問屋町出張所（普）6030159

口座名 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

北 海 道 銀 行

支店・口座番号 北海道銀行 本店営業部（普）3286412

口座名 株式会社北海道銀行
平成30年北海道胆振東部地震救援義援金口

北陸銀行 TOPICS

次世代店舗
オープン

4月、「お客さまを『おもてなし』する地域に親しまれる店舗」をコンセプトとして、黒部支店を新築オープンしました。新店舗は当行でも有数の敷地・店舗面積を誇り、広いスペースの駐車場を確保するとともにゆったりとしたロビーに5室の相談ブースを設置しています。点字ブロックなどバリアフリーに配慮した設備を整え、店内にはキッズコーナー、授乳室および多目的トイレ等を設置し、幅広い層のお客さまに安心してご利用いただけます。また、輻射式空調の導入による空調の効率化およびLED照明の活用による省エネ化を実現し、環境に配慮した建物としています。



外貨自動両替機の設置



4月、より簡易で便利なサービスの提供のため、外貨自動両替機を本店営業部に設置しました。本両替機は、富山県の金融機関としては初の、外貨と円双方向の両替機能を搭載し、外貨から円への両替については、12通貨を取り扱っています。またタッチパネル式の操作は4カ国語に対応し、増加する外国人旅行者にも便利にご利用いただけます。

チャットボットを導入



8月、お客さまの利便性向上・非対面チャネル強化を目的に、北陸3県の地方銀行で初めて、ホームページに人工知能(AI、以下AI)を活用したチャットボットを導入しました。チャットボットでは、お客さまがホームページ閲覧時に、各種商品・サービス内容に関して質問を入力すると、チャットボットが該当する回答を表示します。AIを活用しているため、利用者との会話データをもとに自動で学習し、より適切な回答表示が可能になります。これにより24時間365日いつでもお客さまからの質問を受け付けることができる窓口提供が実現しました。



北海道銀行 TOPICS

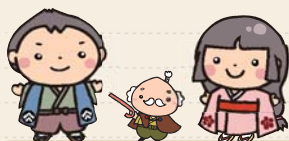


窓口営業時間の変更

7月、14店舗を対象に窓口営業時間を変更しました。地域特性に応じた店舗運営を進めるなかで、窓口休業時間を設定し、行員が手薄となる時間を無くすことで、サービス維持に努めています。

ほくほくフィナンシャルグループの ESG、SDGsを踏まえたCSR活動について

ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。



北陸銀行の取り組みをご紹介します！

北海道銀行の取り組みをご紹介します！



Environment（環境）への取り組み



当社グループは、経営の地盤である北海道・北陸をはじめとする豊かな自然環境の保全活動に取り組んでまいります。また、持続可能な社会の実現に貢献するため環境課題に取り組むお客さまへも積極的に支援してまいります。

北陸銀行
北海道銀行

エコ私募債・CSR私募債の引受

2018年4月～9月の期間「エコ私募債」を198件182億円、「CSR私募債」を7件6.5億円引き受けしました。

「エコ私募債」は、環境に配慮した事業活動を行う企業を対象に私募債の発行条件を優遇しています。

北海道銀行

札幌大通公園 ボランティア清掃の実施

6月、札幌大通公園のボランティア清掃を行いました。



北陸銀行

「桜満開プロジェクト」への参加

4月、南砺市で、桜ヶ池エコビレッジプロジェクト推進委員会が開催する桜ヶ池エコビレッジ「桜満開プロジェクト」に参加協力しました。本プロジェクトは桜ヶ池を桜の名所に再生しようと同委員会が4年前から開催しており、今回で4回目の参加になります。当日は桜ヶ池周辺の清掃活動や、新たな苗木の植樹活動を行いました。



Social (社会) への取り組み



当社グループは、幅広く利便性の高い金融サービスの提供によって地域経済を支えるとともに、さまざまな地域社会の課題解決に積極的に取り組み地域社会の持続的な発展に向け取り組んでまいります。

個人のお客さまのための取り組み

北陸銀行

タブレット端末を利用した マイナンバー告知受付開始

7月、マイナンバーを告知いただく際に、告知書に住所・氏名、マイナンバー等を記入いただく必要があったお客さまの書類記入の負担軽減のため、タブレット端末を利用したマイナンバー告知の受付を開始しました。これにより、お客さまのご記入負担を軽減するほか、お客さまの大切な個人情報により一層安全に取り扱うことが可能となりました。

北海道銀行

通帳繰越機能付ATMの繰越取扱時間拡大

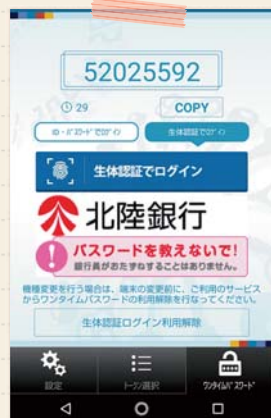
6月、通帳繰越機能付ATMによる繰越取扱時間を拡大しました。

これまで、通帳繰越機能付ATMによる繰越は平日のみの取り扱いでしたが、お客さまから対応を求める声を多数いただいていたことから、土・日・祝日まで取り扱い時間を拡大しました。

北陸銀行

スマートフォンでの生体認証ログイン機能を追加

9月、個人向けインターネットバンキング「ほくぎんダイレクトA」に生体認証ログイン機能を追加しました。ワンタイムパスワードアプリから「ほくぎんダイレクトA」にログインする際に、スマートフォンに搭載された生体認証機能(指紋認証または顔認証)により「ログインID・ログインパスワード」の入力をすることなくログインが可能になりました。



北海道銀行

道銀デビットカードサービスの機能追加

7月、道銀デビットカードサービス(J-Debit)において、従来のショッピング決済としてのJ-Debitの利用方法に加え、キャッシュアウト加盟店のレジ等で現金を引き出すことができるキャッシュアウト機能を追加しました。



法人のお客さまのための取り組み

北陸銀行
北海道銀行

日本M&Aセンターの「地域貢献大賞」
「バンカーオブザイヤー」「情報開発大賞」を受賞

6月、M&Aに関する業務提携先である日本M&Aセンターより「地域貢献大賞」他2賞を受賞しました。「地域貢献大賞」は2017年度、同社との協働実績における各指数を基準に、集計した結果全国7つの地域ブロック内それぞれの地域において最も貢献した提携金融機関に授与されるものです。北陸銀行は北陸・甲信越地区、北海道銀行は北海道・東北地区で受賞しました。



北陸銀行

ほくほく応援ファンド第1号案件の取扱

5月、よろづや観光株式会社に対しほくほく応援ファンドによる優先株式の引受を実施しました。当ファンドは、北陸銀行と株式会社日本政策投資銀行がそれぞれのネットワークや知見を活かし、優先株式や資本金劣後ローン等の金融サービスを組み合わせることで、地域企業の成長や地域経済の活性化に貢献していくことを目的として2018年1月に設立され、本件が第1号の取り扱いとなりました。



北陸銀行

「東証IPOセミナーin富山」を開催

4月、富山市で「東証IPOセミナーin富山」を開催しました。これは、2017年7月に北陸銀行と東京証券取引所が締結した「資本市場に関する連携についての基本協定」に基づく活動の一環です。上場に関心のある企業の経営者、財務・経理担当者、及びIPO業務に携わられている関係者約70名に参加いただき、前田工織株式会社 代表取締役社長兼CEO前田征利氏に上場体験談をお話いただき、パネルディスカッションも行いました。



法人のお客さまのための取り組み

北陸銀行 「ビジネス・サミット2018」を開催

5月、名古屋市で、大垣共立銀行との共同主催で、東海・北陸の地域をつなぐ「ビジネス・サミット2018」を開催しました。13回目のテーマは「食」として、展示会には食品関連企業など113社が参加しました。



参加サプライヤー……157社
参加バイヤー………65社
商談件数………約900件
来場者数………約2,500名

北陸銀行 「Mfairバンコク2018ものづくり商談会」を開催

6月、タイ・バンコクにて開催された第5回「Mfairバンコク2018ものづくり商談会」を地方銀行・自治体などと共催しました。製造業の産業集積が進むタイにおいては、2012年3月バンコク事務所を開設し、カシコン銀行にトレーニーを派遣するなどしており、ビジネスマッチング等の支援も積極的に行っています。

出展社数………162社
来場者数……10,713社
商談件数………3,525社



北海道銀行 常陽銀行と「地域製品の販路拡大にかかる連携協定」を締結

5月、常陽銀行との間で「地域製品の販路拡大にかかる連携協定」を締結しました。

本協定の締結により、両行の駐在員事務所の現地情報等を活用し、相互に取引先の新たな販路開拓や海外進出を支援します。また、国内有数の農産物生産地域である北海道と茨城県それぞれの強みを生かしたアグリビジネスにおける情報交換やビジネスマッチング、更には双方地域間物流の効率化などにも取り組めます。



北海道銀行 「インバウンドプロダクツ2018」を開催

5月、増え続ける訪日外国人客に対する受入態勢強化のため、マーケティング(SNS活用・国別情報発信)、多言語対応(翻訳・WEB関連)、システム(WiFi・電子決済)等のサービス提供事業者と道内の観光関連事業者とのマッチングを目的とした展示・個別商談会を開催しました。

出展社数…………… 25社
来場者数…………… 550名
商談件数…………… 100件



北海道銀行 株式会社マクアケと業務提携

6月、購入型クラウドファンディングサイト「Makuake(マクアケ)」を運営する株式会社マクアケと業務提携を行いました。

本提携は、クラウドファンディングを通じた新商品・新サービスの開発や事業創発、新たな資金調達の提供といった取引先の多様なニーズに対応することで事業・成長戦略を支援することを目的としており、既に成約件数は3件となっています。



北海道銀行 「道銀・生産性革新サポートチーム」を組成

8月、少子高齢化による労働人口の減少を背景とした「企業の生産性向上」「働き方改革」といった課題のサポートをするため、「道銀・生産性革新サポートチーム」を組成し、組成記念セミナーを開催しました。

本サポートチームの組成により、お取引先企業の生産性革新に取り組めます。



北海道銀行 「WeChat Pay」と「ALIPAY」に関する業務提携

9月、中国本土で最も利用されている中国人向け電子決済サービスである「WeChat Pay(ウィチャットペイ)」と「ALIPAY(アリペイ)」の各サービス代理店と業務提携を行いました。

本提携は、訪日外国人観光客の受入態勢強化を目的としており、決済方法の多様化ニーズに対応し、決済システム導入および消費機会の拡大を支援します。



地域への取り組み

北陸銀行 「とやま古民家活用セミナー・ワークショップ」を開催

6月、地域資源を活用した観光まちづくりを目的として、西日本旅客鉄道株式会社ならびに株式会社NOTEとの3社で「歴史的資源を活用した地域活性化に向けた業務連携に関する覚書」を締結しました。この覚書に基づき、富山市で古民家を活用した観光・まちづくりをテーマとして7月にセミナーを開催(約120名

参加)、9月には事業化に向けたワークショップを開催(約30名参加)しました。活動を通じ、「観光振興」「雇用創出」「空き家対策」など地域課題解決に取り組んでいきます。



北海道銀行 「未来につなげるシンポジウム」を開催

5月、地方創生の底上げを目的とし、国の「地方創生人材支援制度」により道内自治体で活躍している6名の派遣者がこれまでの活動を報告するシンポジウムを開催しました。

本シンポジウムでは、派遣者の地方創生に向けた多様な取り組みが発表され、自治体や地方創生に携わる関係機関の職員等193名が参加しました。



北陸銀行 「TGC 富山 2018」の開催に協力

7月、東京ガールズコレクションがプロデュースし、北陸地方初の開催となった「プレステージ・インターナショナル presents TGC TOYAMA 2018 by TOKYO GIRLS COLLECTION」に協力企業として参加しました。

「富山をもっと元気に!」という思いのもとに、北陸初開催に向け誘致を働きかけ、地域経済の活性化や女性が輝く社会の推進に向けて積極的に協力しました。若い女性を中心に延べ約6,850人が来場して会場は大歓声に包まれました。また、関連イベントの花火大会やグルメフェスタにも延べ約46,850人が来場し、大いに盛り上がりしました。



北海道銀行 「地方創生サポートセミナー」を開催

7月、官民連携による地方創生の実現に向けて、札幌市・北海道ドローン協会とともに、道内の自治体職員を主な対象として「地方創生サポートセミナー2018～ドローンの活用について～」を開催しました。

自治体からの関心が高く、また今後幅広い分野での事業展開が見込まれる「ドローン」をテーマとした講義および札幌ドームでの大がかりな飛行実演を行い、20自治体・計91名が参加しました。

金融教育への取り組み

北陸銀行

「平成30年度大学コンソーシアム 合同企業訪問研修」を実施

9月、「平成30年度大学コンソーシアム合同企業訪問研修」で、銀行業務の基礎知識の講義や若手行員との座談会を通して、富山で働く意義や金融機関で働く魅力などを伝えました。

本研修は、県内企業の魅力を知り、就業意識の向上を図ることを目的としており、富山大学、高岡法科大学、富山国際大学、富山短期大学の学生22名が参加しました。

北陸銀行

「夏休み！銀行探検隊」を実施

8月、富山県銀行協会と共同で小学生・中学生を対象に「夏休み！銀行探検隊」を実施しました。

当日は、138名(小学生72名、中学生7名、保護者59名)の方が参加し、お金の使い方や管理の仕方をお小遣い帳を用いて学んだり、本店営業部や貸金庫の見学をするカリキュラムにより、親子の楽しい夏の思い出づくりとともにお金のお大切さや銀行の身近さを感じていただきました。



北海道銀行

学生ラボ「ヨノナカテラス」を立ち上げ

大学生の未来創造ラボ「ヨノナカテラス」を立ち上げました。大学生が道内有力企業のトップランナーとともにマーケティング志向でビジネスアイデアを創造する場となります。8月下旬から第1弾プロジェクトがスタートし、計39名が参加。10月以降も2つのプロジェクトを実施し、北海道に新たな価値や、将来を切り拓く人材といった“光”を創出できるよう取り組んでいきます。



北海道銀行

「夏休み親子で銀行体験」を開催

8月、夏休み期間中に小学生を対象とした金融教育イベント「夏休み親子で銀行体験」を開催しました。道内8店舗で開催し、152名が参加しました。1億円の重さを体感したり、お札を数えたりする体験会を行い、楽しくお金や銀行について知っていただきました。



社会貢献への取り組み

北陸銀行
北海道銀行

YOSAKOIソーラン祭り2018に出場

6月、札幌の初夏を彩る「YOSAKOIソーラン祭り2018」に市民団体との合同チーム「北海あほんだら会&ほくほくフィナンシャルグループ」として出場しました。参加14年目となる今回は北陸銀行、北海道銀行の両行から53名が踊り子や旗振りとして参加し、力強い演舞でお祭りを盛り上げ「敢闘賞」を受賞しました。



北陸銀行

「てるてる亭10周年まつり」を開催

6月、立川志の輔師匠プロデュースによる「てるてる亭10周年まつり」を富山市で開催しました。てるてる亭は、笑いの空間を中心市街地につくり、にぎわい創出につなげようと、北陸銀行が富山市にあった映画館跡を改修して2008年6月にオープンしたホールで、立川志の輔師匠により「てるてる亭」と命名されました。オープン以来、200回を超える公演がなされ、延べ6万人にご来場いただいております。今回の「てるてる亭10周年まつり」では、4日間にわたり、3階てるてる亭で立川志の輔師匠・豪華ゲストによる10周年記念公演、1階ほくほく通りで「ほくほく通り縁日」を開催し、多くの方が来場されました。

北陸銀行

ギャラリー・ミレー「夏休みあつまれ！アートキッズ」を開催／開館6周年

7月と8月、北陸銀行が所有する絵画を展示する美術館「ギャラリー・ミレー」においてお子さま向けの夏休みイベント「夏休みあつまれ！アートキッズ」を開催しました。このイベントは、小・中学生のみなさんとそのご家族を対象に、美術鑑賞の楽しさをお伝えすることを目的に開催するもので、作品の模写をしたり、感想文を書いたり、お互いの作品を発表するなど、積極的にアートを体験していただきました。

また、8月31日～9月2日まで「ギャラリー・ミレー」が開館6周年を迎えたことを記念し、無料開放を行いました。期間中は、「おわらの風の盆」等に合わせて富山県にお越しになった方など多くの方が美術館を訪れました。



北海道銀行 「どうぎんライラックコンサート」を開催

5月、札幌コンサートホールKitaraにお客さま1,900名を招待し、ソプラノ歌手の中江早希さんと札幌交響楽団による共演を楽しんでいただきました。



北海道銀行 「カルチャーナイト2018」を開催

7月、北海道銀行本店営業部のロビーでミニコンサートを開催しました。今回はソプラノ歌手、フルート・ギターの演奏家3名をお招きし、素敵な演奏と共に夏の夜の一時を過ごしていただきました。



北海道銀行 「日ハムマッチデー」を開催

6月、グラッドパートナーとして応援している北海道日本ハムファイターズ公式戦にて「北海道銀行スペシャルデー」を開催しました。ベースランニングやダグアウトツアー等各種イベントも実施し、試合とともに楽しみいただきました。



北海道銀行 「どうぎんカーリングクラシック2018」を開催

8月2日から5日までの4日間、4回目の開催となる「どうぎんカーリングクラシック2018」をどうぎんカーリングスタジアムで開催しました。国内外から男女各8チームが競い合い、熱戦が繰り広げられました。今回からワールドカーリングツアーに登録され、国際試合として定着してきています。



従業員への取り組み

北陸銀行 「ほくぎんファミリーデー」を実施

8月、お互いの家庭を理解し認め合い、職場と家庭の相互理解を図ることを目的とする「おいでよ!ほくぎんファミリーDAY」を開催しました。本イベントは、職員の子供を職場に受け入れ一緒に働き、終了後子どもと一緒に帰宅するというイベントで、毎年実施しています。行員・スタッフ29名、子ども35名が参加しました。



北海道銀行 「札幌ワーク・ライフ・バランスplus企業認証」を取得

4月、「札幌ワーク・ライフ・バランスplus企業」の認証を受けました。

「仕事と子育ての両立支援を推進し、職員が安心して働ける職場環境の充実を図ること」「女性がキャリアプランを意識し、積極的に能力発揮していくことができる環境を醸成すること」を基本的な考え方とし、ワーク・ライフ・バランスの更なる充実を目指していきます。



Governance (ガバナンス) への取り組み



当社グループは、お客さまや地域社会、株主の皆さまからの評価と信頼を確立するため、コンプライアンスの徹底や財務の安全性の確保、コーポレートガバナンスの高度化に取り組んでまいります。

北陸銀行 RPAで業務改革を実施



4月より、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)チームを立ち上げ、営業店・本部の業務効率化に向け、RPAによる業務改革を実施しています。

これまで人間がパソコン上で手作業にて行ってきた定型業務のフローやルールを、ロボットに覚えさせ代行させることで、業務の自動化・効率化を図り、作業時間等削減に努めていきます。

ほくほくFG

フェア・ディスクロージャー・ルールへの対応

公平に情報提供するフェア・ディスクロージャー・ルールへの対応として2018年3月期より会社説明会および株主総会における質疑応答の内容のホームページ開示を実施しました。

引き続き、株主・投資家、お客さま、地域社会、従業員等あらゆるステークホルダーの皆さまとの信頼関係を維持・発展させるため、公正で透明性の高い情報開示に努めていきます。



決算期	毎年3月31日		
定時株主総会の基準日	毎年3月31日		
定時株主総会	毎年6月		
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日		
1単元の株式数	100株		
証券コード	8377		
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所		
公告方法	電子公告により当社ホームページ(http://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。		
株式 事務 取扱 場所	株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	
	お問い合わせ先・ 郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	みずほ フリーダイヤル 0120-288-324 受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■ 株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、 配当金振込先の指定、 単元未満株式の買取・買増請求等	・ 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 ・ 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券 の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

■ 普通株式年間配当（1株当たり）

(単位：円)

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 (予定)
42.5	42.5	44.0	44.0	44.0

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただきます、期末一括配当1株当たり44円とさせていただきます。また、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

※2016年10月1日を効力発生日として、「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施いたしました。左記の過去配当実績は比較のため「併合後の1株当たり配当金額」となっております。

業績ハイライト

グループの概要

ネットワーク

地震対応

トピックス

ESG

株式のご案内

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ°

Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

総合企画部広報CSR室

〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。
ベジタブラインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。